

緊急時／使用時／施工時

便ふたの裏側に水滴がつく！

温水洗浄一体型のみ



チェック！

結露の可能性があります。

便ふたを常に開けた状態にしてください。

※ CH130□・CH140□・CH150□は結露予防設定ができます。

結露発生のしくみ

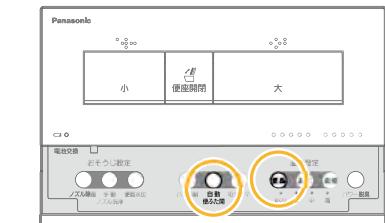
春、秋の水温と室温の差が大きい時期にのみ発生がみられます。便ふた裏側の結露は、室温に対して水温が高い場合、閉めた便ふたの裏面に発生した水蒸気が付着したもので、機器の不具合ではありません。

- やわらかく乾いた布で、結露を軽くふき取ってください。
- 結露のおそれがある時は、次の方法で、便ふたを常に開けた状態にしてください。
便ふた自動開閉機能がある機種は設定することで、便ふたを自動で閉じないように設定できます。(CH100・CH120・CH130)
※CH150は設定変更できません。

便ふたを常に開けた状態にする

- 1 便ふたを開ける。
- 2 「便座」と「自動便ふた開」を同時に2秒押す。

ブザー音が「ピー」と鳴り、自動便ふた閉機能が解除されます。



※イメージはCH130です。

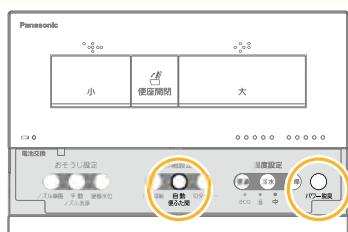
- 3 「自動便ふた開」を押す。

ブザー音が「ピー」と鳴り、自動便ふた開機能が解除されます。

結露予防設定(CH130□・CH140□のみ)

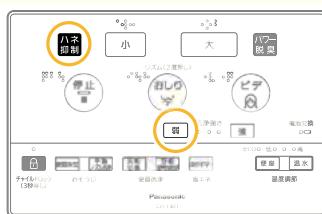
- 便器洗浄するたびに、約3時間脱臭ファンが作動し、結露を抑制します。
※30日間設定が継続します。

CH130□



「自動便ふた開」と「パワー脱臭」を同時に約2秒間押す。

CH140□



「ハネ抑制」と「パワー脱臭」を同時に約2秒間押す。

ブザー音 設定

ピッ → 「入」にする

ピー → 「切」にする